



## CHAPTER 29

# show running-config ldap コマンド～ show running-config wccp コマンド

---

# show running-config ldap

実行されている LDAP 属性マップ内にある LDAP 属性名と値のマッピングを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ldap** コマンドを使用します。

**show running-config [all] ldap attribute-map name**

## 構文の説明

<b>all</b>	すべての LDAP 属性マップを表示します。
<b>name</b>	表示する個々の LDAP 属性マップを指定します。

## デフォルト

デフォルトでは、すべての属性マップ、マッピング名、およびマッピング値が表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、セキュリティ アプライアンス上で実行されている属性マップに含まれる LDAP 属性名と値のマッピングを表示します。すべての属性マップを表示するには、**all** オプションを使用します。また、単一の属性マップを表示するには、マップ名を指定します。**all** オプションと LDAP 属性マップ名をどちらも指定しなかった場合は、すべての属性マップ、マッピング名、およびマッピング値が表示されます。

## 例

次に、特権 EXEC モードでコマンドを入力し、実行されている特定の属性マップ「myldapmap」の属性名と値のマッピングを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config ldap attribute-map myldapmap
map-name Hours cVPN3000-Access-Hours
map-value Hours workDay Daytime
```

次に、実行されているすべての属性マップ内にある、すべての属性名と値のマッピングを表示するコマンドを示します。

```
hostname# show running-config all ldap attribute-map
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ldap attribute-map</b> (グローバル コンフィギュレーションモード)	ユーザ定義の属性名を Cisco LDAP 属性名にマッピングするために、LDAP 属性マップを作成して名前を付けます。
<b>ldap-attribute-map</b> (AAA サーバ ホストモード)	LDAP 属性マップを LDAP サーバにバインドします。
<b>map-name</b>	ユーザ定義の LDAP 属性名を、Cisco LDAP 属性名にマッピングします。
<b>map-value</b>	ユーザ定義の属性値をシスコ属性にマッピングします。
<b>clear configure ldap attribute-map</b>	すべての LDAP 属性マップを削除します。

# show running-config logging

現在実行されているすべてのロギング コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config logging** コマンドを使用します。

**show running-config [all] logging [level | disabled]**

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) 設定をデフォルトから変更していないコマンドを含めて、ロギング コンフィギュレーションを表示します。
<b>disabled</b>	(任意) ディisableにされたシステム ログ メッセージの設定だけを表示します。
<b>level</b>	(任意) デフォルト以外の重大度を持つシステム ログ メッセージの設定だけを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0 (1)	このコマンドは、 <b>show logging</b> コマンドから変更されました。

## 例

次に、**show running-config logging disabled** コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config logging disabled
no logging message 720067
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>logging message</b>	ロギングを設定します。
<b>show logging</b>	ログ バッファおよびその他のロギング設定を表示します。

# show running-config mac-address

実行コンフィギュレーションの **mac-address auto** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-address** コマンドを使用します。

## show running-config mac-address

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config mac-address** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-address
no mac-address auto
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>failover mac address</b>	Active/Standby フェールオーバーの物理インターフェイスに対して、アクティブ MAC アドレスとスタンバイ MAC アドレスを設定します。
<b>mac address</b>	Active/Active フェールオーバーの物理インターフェイスに対して、アクティブ MAC アドレスとスタンバイ MAC アドレスを設定します。
<b>mac-address</b>	物理インターフェイスまたはサブインターフェイスの MAC アドレス（アクティブとスタンバイ）を手動で設定します。マルチ コンテキスト モードでは、同じインターフェイスに対して、コンテキストごとにそれぞれ別の MAC アドレスを設定することができます。
<b>mac-address auto</b>	マルチ コンテキスト モードでの共有インターフェイスの MAC アドレス（アクティブおよびスタンバイ）を自動生成します。
<b>show interface</b>	MAC アドレスを含む、インターフェイスの特性を表示します。

# show running-config mac-address-table

実行コンフィギュレーションの **mac-address-table static** および **mac-address-table aging-time** のコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-address-table** コマンドを使用します。

## show running-config mac-address-table

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config mac-learn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-address-table
mac-address-table aging-time 50
mac-address-table static inside1 0010.7cbe.6101
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>firewall transparent</b>	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
<b>mac-address-table aging-time</b>	ダイナミック MAC アドレス エントリのタイムアウトを設定します。
<b>mac-address-table static</b>	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
<b>mac-learn</b>	MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
<b>show mac-address-table</b>	ダイナミック エントリおよびスタティック エントリを含む MAC アドレス テーブルを表示します。

# show running-config mac-learn

実行コンフィギュレーションの **mac-learn** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-learn** コマンドを使用します。

## show running-config mac-learn

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config mac-learn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-learn
mac-learn disable
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>firewall transparent</b>	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
<b>mac-address-table static</b>	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
<b>mac-learn</b>	MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
<b>show mac-address-table</b>	ダイナミック エントリおよびスタティック エントリを含む MAC アドレス テーブルを表示します。

# show running-config mac-list

**mac-list** コマンドですでに指定されている MAC アドレスのリストを、MAC リスト番号を指定して表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-list** コマンドを使用します。

**show running-config mac-list id**

## 構文の説明

*id* 16 進数形式の MAC アドレス リスト番号。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは CLI ガイドラインに沿うように変更されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config aaa** コマンドは、AAA コンフィギュレーションに含まれる **mac-list** コマンドステートメントを表示します。

## 例

次に、*id* が *adc* と等しい MAC アドレス リストを表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config mac-list adc
mac-list adc permit 00a0.cp5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list adc deny 00a1.cp5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list ac permit 0050.54ff.0000 ffff.ffff.0000
mac-list ac deny 0061.54ff.b440 ffff.ffff.ffff
mac-list ac deny 0072.54ff.b440 ffff.ffff.ffff
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mac-list</b>	先頭一致検索を使用して MAC アドレスのリストを追加します。
<b>clear configure mac-list</b>	指定した <b>mac-list</b> コマンドステートメントを削除します。
<b>show running-config aaa</b>	実行 AAA コンフィギュレーション値を表示します。



# show running-config management-access

管理アクセス用に設定されている内部インターフェイスの名前を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config management-access** コマンドを使用します。

## show running-config management-access

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

### コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

### 使用上のガイドライン

**management-access** コマンドを使用すると、*mgmt\_if* で指定したファイアウォール インターフェイスの IP アドレスを使用して、内部管理インターフェイスを定義できます（インターフェイス名は **nameif** コマンドによって定義され、**show interface** コマンドの出力で引用符 " " に囲まれて表示されます）。

### 例

次の例は、「inside」という名前のファイアウォール インターフェイスを管理アクセス インターフェイスとして設定し、結果を表示する方法を示しています。

```
hostname# management-access inside
hostname# show running-config management-access
management-access inside
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure management-access</b>	セキュリティ アプライアンスの管理アクセスのための、内部インターフェイスのコンフィギュレーションを削除します。
<b>management-access</b>	管理アクセス用の内部インターフェイスを設定します。

# show running-config monitor-interface

実行コンフィギュレーションのすべての **monitor-interface** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config monitor-interface** コマンドを使用します。

**show running-config [all] monitor-interface**

## 構文の説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての **monitor-interface** コマンドを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**monitor-interface** コマンドは、すべての物理インターフェイスにおいてデフォルトでイネーブルになっています。このデフォルトのコンフィギュレーションを表示するには、このコマンドで **all** キーワードを使用する必要があります。

## 例

次に、**show running-config monitor-interface** コマンドの出力例を示します。最初のコマンドは **all** キーワードを指定せずに入力されているため、モニタリングがイネーブルであるインターフェイスのみが出力に表示されています。2 番目のコマンドは **all** キーワードを指定して入力されているため、デフォルトの **monitor-interface** コンフィギュレーションも表示されています。

```
hostname# show running-config monitor-interface
no monitor-interface outside
hostname#
hostname# show running-config all monitor-interface
monitor-interface inside
no monitor-interface outside
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>monitor-interface</b>	指定したインターフェイスでフェールオーバーを目的とするヘルスマニタリングをイネーブルにします。
<b>clear configure monitor-interface</b>	実行コンフィギュレーションの <b>no monitor-interface</b> コマンドを削除し、デフォルトのインターフェイスヘルスマニタリング状態を復元します。

# show running-config mroute

コンフィギュレーション内のスタティック マルチキャスト ルート テーブルを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mroute** コマンドを使用します。

```
show running-config mroute [ dst [ src ] ]
```

## 構文の説明

<i>dst</i>	マルチキャスト グループのクラス D アドレス。
<i>src</i>	マルチキャスト送信元の IP アドレス。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> を追加しました。

## 例

次に、**show running-config mroute** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mroute
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mroute</b>	スタティック マルチキャスト ルートを設定します。

# show running-config mtu

現在の最大伝送単位のブロック サイズを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mtu** コマンドを使用します。

```
show running-config mtu [interface_name]
```

## 構文の説明

*interface\_name* (任意) 内部または外部のネットワーク インターフェイス名。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

## 例

次に、**show running-config mtu** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mtu
mtu outside 1500
mtu inside 1500
mtu dmz 1500
hostname# show running-config mtu outside
mtu outside 1500
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure mtu</b>	すべてのインターフェイスの設定済み最大伝送単位値をクリアします。
<b>mtu</b>	インターフェイスの最大伝送単位を指定します。

# show running-config multicast-routing

実行コンフィギュレーションに **multicast-routing** コマンドが存在する場合に、このコマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config multicast-routing** コマンドを使用します。

## show running-config multicast-routing

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show running-config multicast-routing** コマンドは、実行コンフィギュレーションに含まれる **multicast-routing** コマンドを表示します。実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除するには、**clear configure multicast-routing** コマンドを入力します。

### 例

次に、**show running-config multicast-routing** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config multicast-routing
multicast-routing
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure multicast-routing</b>	実行コンフィギュレーションから <b>multicast-routing</b> コマンドを削除します。
<b>multicast-routing</b>	セキュリティ アプライアンスでマルチキャスト ルーティングをイネーブルにします。

# show running-config nac-policy

セキュリティ アプライアンス上の NAC ポリシーごとのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nac-policy** コマンドを使用します。

**show running-config [all] nac-policy [nac-policy-name]**

## 構文の説明

<b>all</b>	デフォルト設定を含め、NAC ポリシーの動作設定全体を表示します。
<b>nac-policy-name</b>	セキュリティ アプライアンスのコンフィギュレーションに含まれる NAC ポリシーの名前。

## デフォルト

**nac-policy-name** を指定しなかった場合は、デフォルトで NAC ポリシーごとの名前とコンフィギュレーションが CLI に表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**nacapp1** および **nacapp2** という名前の NAC ポリシーのコンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config nac-policy
nac-policy framework nac-framework
  default-acl acl-1
  reval-period 36000
  sq-period 300
  exempt-list os "Windows XP" filter acl-2
nac-policy nacapp1 nacapp
  auth-vlan 1
  cas 209.165.202.129
  cam outside 209.165.201.22 community secretword
timeout 10
hostname#
```

各 NAC ポリシーの先頭行は、ポリシーの名前とタイプを示しています。タイプは次のとおりです。

- **nacapp** : Cisco NAC アプライアンスを使用して、リモート ホストのネットワーク アクセス ポリシーを提供します。表 29-1 に、**show running-config nac-policy** コマンドの応答として表示される **nacapp** 属性の説明を示します。
- **nac-framework** : Cisco Access Control Server を使用して、リモート ホストのネットワーク アクセス ポリシーを提供します。表 29-2 に、**show running-config nac-policy** コマンドの応答として表示される **nac-framework** 属性の説明を示します。

表 29-1 nacapp ポリシーの show running-config nac-policy コマンドのフィールド

フィールド	説明
auth-vlan	ポスチャ検証が進行中の際、ユーザ アクセスを制限する認証 VLAN。セキュリティ アプライアンスは、トンネルの完了時に、セッションに割り当てられた vlan 属性に auth-vlan の値をコピーします。ポスチャ検証が正常に行われた後、セキュリティ アプライアンスは NAC アプライアンスから取得したアクセス VLAN の値で vlan 属性の値を上書きします。
cam	この行には次の値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Clean Access Manager と通信するために使用するセキュリティ アプライアンスのインターフェイス。</li> <li>• CAM の IP アドレスまたはホスト名。</li> <li>• CAM の SNMP コミュニティ スtring。</li> </ul>
cas	Clean Access Server の IP アドレスまたはホスト名。
timeout	ユーザ セッションを認証 VLAN に割り当てておくことのできる最大時間 (分)。

表 29-2 nac-framework ポリシーの show running-config nac-policy コマンドのフィールド

フィールド	説明
default-acl	ポスチャ検証前に適用される NAC デフォルト ACL。セキュリティ アプライアンスは、ポスチャ検証の後、リモート ホストの Access Control Server から取得した ACL でデフォルト ACL を置き換えます。ポスチャ確認が失敗した場合は、デフォルト ACL がそのまま使われます。
reval-period	NAC フレームワーク セッションで正常に完了したポスチャ検証の間隔 (秒)。
sq-period	NAC フレームワーク セッションで正常に完了したポスチャ検証と、ホスト ポスチャの変化を調べる次のクエリーとの間隔 (秒)。
exempt-list	ポスチャ検証を免除されるオペレーティング システム名。リモート コンピュータのオペレーティング システムがこの名前に一致する場合は、トラフィックをフィルタリングするオプションの ACL も表示されます。
authentication-server-group	NAC ポスチャ検証に使用される認証サーバ グループの名前。

関連コマンド

<b>nac-policy</b>	Cisco NAC ポリシーを作成してアクセスし、そのタイプを指定します。
<b>clear configure nac-policy</b>	グループ ポリシーに割り当てられているものを除き、すべての NAC ポリシーを実行コンフィギュレーションから削除します。
<b>show nac-policy</b>	セキュリティ アプライアンスでの NAC ポリシー使用状況の統計情報を表示します。
<b>show vpn-session_summary.db</b>	VLAN マッピング セッション データを含む、IPSec、Cisco AnyConnect、NAC の各セッションの数を表示します。
<b>show vpn-session.db</b>	VLAN マッピングと NAC の結果を含む、VPN セッションの情報を表示します。



# show running-config name

IP アドレスに関連付けられている (**name** コマンドで設定された) 名前のリストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config name** コマンドを使用します。

## show running-config name

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
				マルチ	
コマンドモード	ルーテッド	透過	シングル	コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、IP アドレスに関連付けられている名前のリストを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config name
name 192.168.42.3 sa_inside
name 209.165.201.3 sa_outside
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure name</b>	コンフィギュレーションから名前のリストをクリアします。
<b>name</b>	名前を IP アドレスに関連付けます。

# show running-config nameif

実行コンフィギュレーションのインターフェイス名コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nameif** コマンドを使用します。

```
show running-config nameif [physical_interface[.subinterface] | mapped_name]
```

## 構文の説明

<i>mapped_name</i>	(任意) <b>allocate-interface</b> コマンドを使用してマッピング名を割り当てた場合、マルチ コンテキスト モードでその名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(任意) <b>gigabitenet0/1</b> などのインターフェイス ID を指定します。有効値については、 <b>interface</b> コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(任意) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

## デフォルト

インターフェイスを指定しなかった場合は、すべてのインターフェイスのインターフェイス名コンフィギュレーションが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 <b>show nameif</b> から変更されました。

## 使用上のガイドライン

マルチ コンテキスト モードで、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピングした場合、そのマッピング名はコンテキスト内だけで指定できます。

このコマンドの表示には、**security-level** コマンドのコンフィギュレーションも表示されます。

## 例

次に、**show running-config nameif** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config nameif
!
interface GigabitEthernet0/0
 nameif inside
 security-level 100
!
interface GigabitEthernet0/1
 nameif test
 security-level 0
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>allocate-interface</b>	インターフェイスおよびサブインターフェイスをセキュリティ コンテキストに割り当てます。
<b>clear configure interface</b>	インターフェイス コンフィギュレーションをクリアします。
<b>interface</b>	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>nameif</b>	インターフェイス名を設定します。
<b>security-level</b>	インターフェイスのセキュリティ レベルを設定します。

# show running-config names

IP アドレスから名前への変換を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config names** コマンドを使用します。

## show running-config names

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**names** コマンドとともに使用します。

### 例

次に、IP アドレスから名前への変換を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config names
name 192.168.42.3 sa_inside
name 209.165.201.3 sa_outside
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure name</b>	コンフィギュレーションから名前のリストをクリアします。
<b>name</b>	名前を IP アドレスに関連付けます。
<b>names</b>	<b>name</b> コマンドで設定できる IP アドレスから名前への変換をイネーブルにします。
<b>show running-config name</b>	IP アドレスに関連付けられた名前のリストを表示します。

# show running-config nat

ネットワークに関連付けられているグローバル IP アドレスのプールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nat** コマンドを使用します。

```
show running-config nat [interface_name] [nat_id]
```

## 構文の説明

<i>interface_name</i>	(任意) ネットワーク インターフェイスの名前。
<i>nat_id</i>	(任意) ホスト グループまたはネットワークの ID。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> を追加しました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、UDP プロトコルの最大接続値を表示します。UPD 最大接続値が設定されていない場合、この値はデフォルトで常に 0 と表示され、値が適用されません。



(注)

トランスペアレント モードで有効な NAT ID は 0 のみです。

## 例

次に、ネットワークに関連付けられているグローバル IP アドレスのプールを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config nat
nat (inside) 1001 10.7.2.0 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1001 10.7.2.32 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1001 10.7.2.64 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.96 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.128 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.160 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1003 10.7.2.192 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1003 10.7.2.224 255.255.255.224 0 0
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure nat</code>	NAT コンフィギュレーションを削除します。
<code>nat</code>	ネットワークをグローバル IP アドレス プールに関連付けます。

# show running-config nat-control

NAT コンフィギュレーション要件を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nat-control** コマンドを使用します。

## show running-config nat-control

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	—	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config nat-control** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config nat-control
no nat-control
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>nat</b>	他のインターフェイスのグローバルアドレスに変換される、1つのインターフェイス上のアドレスを定義します。
<b>nat-control</b>	NAT ルールを設定していない場合でも、内部ホストが外部ネットワークと通信できるようにします。

# show running-config ntp

実行コンフィギュレーションの NTP コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ntp** コマンドを使用します。

## show running-config ntp

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config ntp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ntp
ntp authentication-key 1 md5 test2
ntp authentication-key 2 md5 test
ntp trusted-key 1
ntp trusted-key 2
ntp server 10.1.1.1 key 1
ntp server 10.2.1.1 key 2 prefer
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ntp authenticate</b>	NTP 認証をイネーブルにします。
<b>ntp authentication-key</b>	NTP サーバと同期するために、暗号化された認証キーを設定します。
<b>ntp server</b>	NTP サーバを指定します。
<b>ntp trusted-key</b>	NTP サーバによる認証用パケットで使用するための、セキュリティアプライアンスのキー ID を指定します。
<b>show ntp status</b>	NTP アソシエーションのステータスを表示します。



# show running-config object-group

現在のオブジェクト グループを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config object-group** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] object-group [protocol | service | network | icmp-type | id obj_grp_id]
```

## 構文の説明

<b>icmp-type</b>	(任意) ICMP タイプのオブジェクト グループを表示します。
<b>id obj_grp_id</b>	(任意) 指定したオブジェクト グループを表示します。
<b>network</b>	(任意) ネットワーク オブジェクト グループを表示します。
<b>protocol</b>	(任意) プロトコル オブジェクト グループを表示します。
<b>service</b>	(任意) サービス オブジェクト グループを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

## 例

次に、**show running-config object-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config object-group
object-group protocol proto_grp_1
  protocol-object udp
  protocol-object tcp
object-group service eng_service tcp
  port-object eq smtp
  port-object eq telnet
object-group icmp-type icmp-allowed
  icmp-object echo
  icmp-object time-exceeded
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure object-group</b>	すべての <b>object group</b> コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
<b>group-object</b>	ネットワーク オブジェクト グループを追加します。

コマンド	説明
<b>network-object</b>	ネットワーク オブジェクト グループにネットワーク オブジェクトを追加します。
<b>object-group</b>	コンフィギュレーションを最適化するためのオブジェクト グループを定義します。
<b>port-object</b>	サービス オブジェクト グループにポート オブジェクトを追加します。

# show running-config passwd

暗号化されたログインパスワードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config passwd** コマンドを使用します。

**show running-config {passwd | password}**

## 構文の説明

**passwd | password**      どちらのコマンドでも入力できます。これらは互いにエイリアス関係にあります。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 <b>show passwd</b> コマンドから変更されました。

## 使用上のガイドライン

パスワードは暗号化された形式でコンフィギュレーションに保存されるため、パスワードの入力後に元のパスワードを表示することはできません。パスワードは **encrypted** キーワードとともに表示され、パスワードが暗号化されていることが示されます。

## 例

次に、**show running-config passwd** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config passwd
passwd 2AfK9Kjr3BE2/J2r encrypted
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure passwd</b>	ログインパスワードをクリアします。
<b>enable</b>	特権 EXEC モードを開始します。
<b>enable password</b>	イネーブルパスワードを設定します。
<b>passwd</b>	ログインパスワードを設定します。
<b>show curpriv</b>	現在ログインしているユーザ名とユーザの特権レベルを表示します。

# show running-config phone-proxy

電話プロキシ固有の情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config phone-proxy** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] phone-proxy [ phone_proxy_name ]
```

## 構文の説明

*phone\_proxy\_name* (任意) 電話プロキシ インスタンスの名前を指定します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(4)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-config phone-proxy** コマンドを使用して、電話プロキシ固有の情報を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all phone proxy asa_phone_proxy
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>phone-proxy</b>	Phone Proxy インスタンスを設定します。

# show running-config pim

実行コンフィギュレーションの PIM コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config pim** コマンドを使用します。

## show running-config pim

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show running-config pim** コマンドは、グローバル コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドを表示します。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドは表示しません。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドを表示するには、**show running-config interface** コマンドを入力します。

### 例

次に、**show running-config pim** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config pim

pim old-register-checksum
pim spt-threshold infinity
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure pim</b>	実行コンフィギュレーションから <b>pim</b> コマンドを削除します。
<b>show running-config interface</b>	インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力されたインターフェイス コンフィギュレーション コマンドを表示します。

# show running-config policy-map

すべてのポリシー マップ コンフィギュレーションまたはデフォルトのポリシー マップ コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config policy-map** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] policy-map [policy_map_name | type inspect [protocol]]
```

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべてのコマンドを表示します。
<i>policy_map_name</i>	(任意) ポリシー マップ名の実行コンフィギュレーションを表示します。
<i>protocol</i>	(任意) 表示するインスペクション ポリシー マップのタイプを指定します。利用可能なタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• dcerpc</li> <li>• dns</li> <li>• esmtp</li> <li>• ftp</li> <li>• gtp</li> <li>• h323</li> <li>• http</li> <li>• im</li> <li>• mgcp</li> <li>• netbios</li> <li>• p2p</li> <li>• radius-accounting</li> <li>• sip</li> <li>• skinny</li> <li>• snmp</li> </ul>
<b>type inspect</b>	(任意) インスペクション ポリシー マップを表示します。

## デフォルト

**all** キーワードを省略すると、明示的に設定されているポリシー マップ コンフィギュレーションだけが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**all** キーワードを指定すると、明示的に設定したポリシー マップ コンフィギュレーションの他に、デフォルトのポリシー マップ コンフィギュレーションも表示されます。

## 例

次に、**show running-config policy-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config policy-map
!
policy-map localmap1
  description this is a test.
  class firstclass
  priority
  ids promiscuous fail0close
  set connection random-seq# enable
  class class-default
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>policy-map</b>	ポリシーを設定します。これは、1つのトラフィック クラスと1つ以上のアクションのアソシエーションです。
<b>clear configure policy-map</b>	ポリシー コンフィギュレーション全体を削除します。

# show running-config pop3s

POP3S の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config pop3s** コマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

## show running-config [all] pop3s

### 構文の説明

**all** 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
webvpn	•	—	•	—	—

### 例

次に、**show running-config pop3s** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config pop3s

pop3s
 server 10.160.102.188
 authentication-server-group KerbSvr
 authentication aaa

hostname# show running-config all pop3s

pop3s
 port 995
 server 10.160.102.188
 outstanding 20
 name-separator :
 server-separator @
 authentication-server-group KerbSvr
 no authorization-server-group
 no accounting-server-group
 no default-group-policy
 authentication aaa
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure pop3s</code>	POP3S コンフィギュレーションを削除します。
<code>pop3s</code>	POP3S 電子メール プロキシ コンフィギュレーションを作成または編集します。

# show running-config prefix-list

実行コンフィギュレーションの **prefix-list** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config prefix-list** コマンドを使用します。

## show running-config prefix-list

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 <b>show prefix-list</b> コマンドから <b>show running-config prefix-list</b> コマンドに変更されました。

### 使用上のガイドライン

**prefix-list description** コマンドは、常に実行コンフィギュレーション内の関連する **prefix-list** コマンドの前に表示されます。コマンドを入力した順序は関係ありません。

### 例

次に、**show running-config prefix-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config prefix-list

!
prefix-list abc description A sample prefix list
prefix-list abc seq 5 permit 192.168.0.0/8 le 24
prefix-list abc seq 10 deny 10.0.0.0/8 le 32
!
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure prefix-list</b>	実行コンフィギュレーションから <b>prefix-list</b> コマンドをクリアします。

# show running-config priority-queue

インターフェイスのプライオリティ キュー コンフィギュレーションの詳細を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config priority-queue** コマンドを使用します。

**show running-config priority-queue interface-name**

## 構文の説明

*interface-name* プライオリティ キューの詳細を表示するインターフェイスの名前を指定します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**test** という名前のインターフェイスについて **show running-config priority-queue** コマンドを使用した場合のコマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config priority-queue test
priority-queue test
  queue-limit 50
  tx-ring-limit 10
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure priority-queue</b>	指定されたインターフェイスからプライオリティ キュー コンフィギュレーションを削除します。
<b>priority-queue</b>	インターフェイスにプライオリティ キューイングを設定します。
<b>show priority-queue statistics</b>	指定したインターフェイスに設定されているプライオリティ キューの統計情報を表示します。

# show running-config privilege

コマンドまたはコマンドのセットの特権を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config privilege** コマンドを使用します。

**show running-config [all] privilege [all | command *command* | level *level*]**

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) 最初の引数：デフォルトの特権レベルを表示します。
<b>all</b>	(任意) 2 番目の引数：すべてのコマンドの特権レベルを表示します。
<b>command <i>command</i></b>	(任意) 特定のコマンドの特権レベルを表示します。
<b>level <i>level</i></b>	(任意) 指定したレベルに設定されているコマンドを表示します。有効な値は、0 ～ 15 です。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、CLI ガイドラインに準拠するようにこのリリースで修正されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config privilege** コマンドを使用すると、現在の特権レベルが表示されます。

## 例

```
hostname(config)# show running-config privilege level 0
privilege show level 0 command checksum
privilege show level 0 command curpriv
privilege configure level 0 mode enable command enable
privilege show level 0 command history
privilege configure level 0 command login
privilege configure level 0 command logout
privilege show level 0 command pager
privilege clear level 0 command pager
privilege configure level 0 command pager
privilege configure level 0 command quit
privilege show level 0 command version
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure privilege</b>	コンフィギュレーションから <b>privilege</b> コマンド ステートメントを削除します。
<b>privilege</b>	コマンドの特権レベルを設定します。
<b>show curpriv</b>	現在の特権レベルを表示します。
<b>show running-config privilege</b>	コマンドの特権レベルを表示します。

# show running-config regex

**regex** コマンドを使用して設定したすべての正規表現を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config regex** コマンドを使用します。

## show running-config regex

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config regex** コマンドの出力例を示します。すべての正規表現が表示されています。

```
hostname# show running-config regex
regex test "string"
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>class-map type regex</b>	正規表現クラス マップを作成します。
<b>clear configure regex</b>	すべての正規表現をクリアします。
<b>regex</b>	正規表現を作成します。
<b>test regex</b>	正規表現をテストします。

# show running-config route

セキュリティ アプライアンス上で実行されているルート コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config route** コマンドを使用します。

**show running-config [all] route**

## 構文の説明

デフォルトの動作や値はありません。

## デフォルト

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> を追加しました。

## 例

次に、**show running-config route** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config route
route outside 10.30.10.0 255.255.255.0 1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure route</b>	<b>connect</b> キーワードを含んでいない <b>route</b> コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
<b>route</b>	インターフェイスのスタティック ルートまたはデフォルト ルートを指定します。
<b>show route</b>	ルート情報を表示します。

# show running-config route-map

ルート マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config route-map** コマンドを使用します。

**show running-config route-map** [*map\_tag*]

## 構文の説明

*map\_tag* (任意) ルート マップ タグのテキスト。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> を追加しました。

## 使用上のガイドライン

コンフィギュレーション内に定義されたすべてのルート マップを表示するには、**show running-config route-map** コマンドを使用します。名前を指定して個々のルート マップを表示するには、**show running-config route-map map\_tag** コマンドを使用します。*map\_tag* はルート マップの名前です。複数のルート マップで同じマップ タグ名を共有できます。

## 例

次に、**show running-config route-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config route-map
route-map maptag1 permit sequence 10
  set metric 5
  match metric 3
route-map maptag1 permit sequence 12
  set metric 5
  match interface backup
  match metric 3
route-map maptag2 deny sequence 10
  match interface dmz
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure route-map</b>	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布するための条件を削除します。
<b>route-map</b>	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義します。

# show running-config router

指定したルーティング プロトコルのグローバル コンフィギュレーション コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config router** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] router [ospf [process_id] | rip | eigrp [as-number]]
```

## 構文の説明

<i>all</i>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての router コマンドを表示します。
<i>as-number</i>	(任意) 指定した EIGRP 自律システム番号のルータ コンフィギュレーション コマンドを表示します。指定されていない場合は、すべての EIGRP ルーティング プロセスのルータ コンフィギュレーション コマンドが表示されます。  セキュリティ アプライアンスでサポートされる EIGRP ルーティング プロセスは 1 つだけであるため、オプションの <i>as-number</i> 引数を含めても、省略した場合と同じ結果になります。
<b>eigrp</b>	(任意) EIGRP ルータ コンフィギュレーション コマンドを表示します。
<b>ospf</b>	(任意) OSPF ルータ コンフィギュレーション コマンドを表示します。
<i>process_id</i>	(任意) 選択した OSPF プロセスに関するコマンドを表示します。
<b>rip</b>	(任意) RIP ルータ コンフィギュレーション コマンドを表示します。

## デフォルト

ルーティング プロトコルが指定されていない場合、設定済みのすべてのルーティング プロトコルのルータ コンフィギュレーション コマンドが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 <b>show router</b> コマンドから <b>show running-config router</b> コマンドに変更されました。
8.0(2)	このコマンドが、 <b>eigrp</b> キーワードを含めるように修正されました。

## 例

次に、**show running-config router ospf** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config router ospf 1

router ospf 1
  log-adj-changes detail
  ignore lsa mospf
  no compatible rfc1583
```

```

distance ospf external 200
timers spf 10 20
timers lsa-group-pacing 60

```

次に、**show running-config router rip** コマンドの出力例を示します。

```

hostname# show running-config router rip

router rip
  network 10.0.0.0
  version 2
  no auto-summary

```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure router</b>	実行コンフィギュレーションからすべての <b>router</b> コマンドをクリアします。
<b>router eigrp</b>	EIGRP ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>router ospf</b>	OSPF ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>router rip</b>	RIP ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードを開始します。

# show running-config same-security-traffic

セキュリティ レベルが等しいインターフェイス間の通信を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config same-security-traffic** コマンドを使用します。

**show running-config same-security-traffic**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-config same-security-traffic** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config same-security-traffic
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>same-security-traffic</b>	同じセキュリティ レベルのインターフェイス間の通信を許可します。

# show running-config service

システム サービスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config service** コマンドを使用します。

## show running-config service

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンド モード					
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> が追加されました。

### 例

次に、システム サービスを表示するコマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config service
service resetoutside
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>service</b>	システム サービスをイネーブルにします。

# show running-config service-policy

現在実行されているすべてのサービス ポリシー コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config service-policy** コマンドを使用します。

**show running-config [all] service-policy**

## 構文の説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべてのサービス ポリシー コマンドを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**show running-config service-policy** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config service-policy
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show service-policy</b>	サービス ポリシーを表示します。
<b>service-policy</b>	サービス ポリシーを設定します。
<b>clear service-policy</b>	サービス ポリシーのコンフィギュレーションをクリアします。
<b>clear configure service-policy</b>	サービス ポリシーのコンフィギュレーションをクリアします。

# show running-config sla monitor

実行コンフィギュレーションの SLA 動作コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sla monitor** コマンドを使用します。

```
show running-config sla monitor [sla-id]
```

## 構文の説明

*sla\_id* 表示する **sla monitor** コマンドの SLA ID を指定します。有効な値は 1 ～ 2147483647 です。

## デフォルト

*sla-id* が指定されていない場合は、すべての SLA 動作の **sla monitor** コマンドが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、**sla monitor** コマンド、関連する SLA モニタ コンフィギュレーション モード コマンド、および関連する **sla monitor** スケジュール コマンド（存在する場合）を表示します。コンフィギュレーション内の **track rtr** コマンドは表示しません。

## 例

次に、**show running-config sla monitor 5** コマンドの出力例を示します。SLA ID が 5 である SLA 動作の SLA モニタ コンフィギュレーションが表示されます。

```
hostname# show running-config sla monitor 5

sla monitor 124
 type echo protocol ipIcmpEcho 10.1.1.1 interface outside
 timeout 1000
 frequency 3
sla monitor schedule 124 life forever start-time now
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure sla monitor</b>	実行コンフィギュレーションから <b>sla monitor</b> コマンドおよび関連コマンドを削除します。
<b>show sla monitor configuration</b>	指定した SLA 動作のコンフィギュレーション値を表示します。

# show running-config smtps

smtps の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config smtps** コマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

## show running-config [all] smtps

### 構文の説明

**all** 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config smtps** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config smtps

smtps
server 10.1.1.21
 authentication-server-group KerbSvr
 authentication aaa

hostname# show running-config all smtps

smtps
port 995
server 10.1.1.21
outstanding 20
name-separator :
server-separator @
authentication-server-group KerbSvr
no authorization-server-group
no accounting-server-group
no default-group-policy
authentication aaa
hostname#
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure smtps</code>	SMTPS コンフィギュレーションを削除します。
<code>smtps</code>	SMTPS 電子メール プロキシ コンフィギュレーションを作成または編集します。

# show running-config snmp-map

設定されている SNMP マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config snmp-map** コマンドを使用します。

**show running-config snmp-map** *map\_name*

## 構文の説明

*map\_name* 指定した SNMP マップのコンフィギュレーションを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config snmp-map** コマンドは、設定されている SNMP マップを表示します。

## 例

次に、**show running-config snmp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config snmp-map snmp-policy
!
snmp-map snmp-policy
deny version 1
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>class-map</b>	セキュリティ アクションを適用するトラフィック クラスを定義します。
<b>deny version</b>	特定のバージョンの SNMP を使用したトラフィックを不許可にします。
<b>inspect snmp</b>	SNMP アプリケーション インспекションをイネーブルにします。
<b>snmp-map</b>	SNMP マップを定義し、SNMP マップ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。

# show running-config snmp-server

現在実行されているすべての SNMP サーバ コンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config snmp-server** コマンドを使用します。

## show running-config [default] snmp-server

### 構文の説明

**default** デフォルトの SNMP サーバ コンフィギュレーションを表示します。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config snmp-server** コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config snmp-server
snmp-server host inside 10.21.104.209 community asal
no snmp-server location
no snmp-server contact
snmp-server enable traps snmp authentication linkup linkdown coldstart
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>snmp-server</b>	SNMP サーバを設定します。
<b>clear snmp-server</b>	SNMP サーバ コンフィギュレーションをクリアします。
<b>show snmp-server statistics</b>	SNMP サーバ コンフィギュレーションを表示します。

# show running-config ssh

現在のコンフィギュレーションの SSH コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ssh** コマンドを使用します。

```
show running-config [default] ssh [timeout | version]
```

```
show run [default] ssh [timeout]
```

## 構文の説明

<b>default</b>	(任意) デフォルトの SSH コンフィギュレーション値および設定されている値を表示します。
<b>timeout</b>	(任意) 現在の SSH セッション タイムアウト値を表示します。
<b>version</b>	(任意) 現在サポートされている SSH のバージョンを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 <b>show ssh</b> コマンドから <b>show running-config ssh</b> コマンドに変更されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、現在の SSH コンフィギュレーションを表示します。SSH セッションのタイムアウト値だけを表示するには、**timeout** オプションを使用します。アクティブな SSH セッションのリストを表示するには、**show ssh sessions** コマンドを使用します。

## 例

次に、SSH セッション タイムアウトを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config timeout
ssh timeout 5 minutes
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure ssh</b>	実行コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドをクリアします。
<b>ssh</b>	指定したクライアントまたはネットワークからセキュリティ アプライアンスへの SSH 接続を許可します。

コマンド	説明
ssh scopy enable	セキュリティ アプライアンスでセキュア コピー サーバをイネーブルにします。
ssh timeout	アイドル状態の SSH セッションのタイムアウト値を設定します。
ssh version	SSH バージョン 1 と SSH バージョン 2 のいずれかを使用するよう、セキュリティ アプライアンスを制限します。

# show running-config ssl

現在の設定済み SSL コマンドのセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ssl** コマンドを使用します。

## show running-config ssl

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config ssl** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ssl
ssl server-version tlsv1
ssl client-version tlsv1-only
ssl encryption 3des-sha1
ssl trust-point Firstcert
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear config ssl</b>	コンフィギュレーションからすべての SSL コマンドを削除し、デフォルト値に戻します。
<b>ssl client-version</b>	セキュリティ アプライアンスがクライアントとして動作する場合に使用する SSL プロトコルおよび TLS プロトコルのバージョンを指定します。
<b>ssl server-version</b>	セキュリティ アプライアンスがサーバとして動作する場合に使用する SSL/TLS プロトコルのバージョンを指定します。
<b>ssl trust-point</b>	インターフェイスの SSL 証明書を表す証明書トラストポイントを指定します。

# show running-config static

コンフィギュレーション内のすべての **static** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config static** コマンドを使用します。

## show running-config static

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> が追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、UDP プロトコルの最大接続値を表示します。UDP 最大接続値が「0」の場合、または設定されていない場合、制限は適用されません。

### 例

次に、コンフィギュレーション内のすべての **static** コマンドを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config static
static (inside,outside) 192.150.49.91 10.1.1.91 netmask 255.255.255.255
static (inside,outside) 192.150.49.200 10.1.1.200 netmask 255.255.255.255 tcp 255 0
```



(注)

UDP 接続の制限値は表示されません。

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure static</b>	コンフィギュレーションからすべての <b>static</b> コマンドを削除します。
<b>static</b>	ローカル IP アドレスをグローバル IP アドレスにマッピングすることによって、固定の 1 対 1 のアドレス変換ルールを設定します。

# show running-config sunrpc-server

SunRPC コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sunrpc-server** コマンドを使用します。

```
show running-config sunrpc-server interface_name ip_addr mask service service_type protocol
[TCP | UDP] port port [- port] timeout hh:mm:ss
```

## 構文の説明

<i>interface_name</i>	サーバのインターフェイス。
<i>ip_addr</i>	サーバの IP アドレス。
<i>mask</i>	ネットワーク マスク。
<b>port port - port</b>	SunRPC プロトコルのポート範囲と、2 番目のポート (任意)。
<b>protocol</b>	SunRPC トランスポート プロトコル。
<b>service</b>	サービスを指定します。
<i>service_type</i>	SunRPC サービス プログラム タイプを設定します。
<b>timeout hh:mm:ss</b>	SunRPC サービス トラフィックへのアクセスが終了するまでのタイムアウトアイドル時間を指定します。
<b>TCP</b>	(任意) TCP を指定します。
<b>UDP</b>	(任意) UDP を指定します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

*service\_type* は、**sunrpcinfo** コマンドで指定したものです。

## 例

次に、**show running-config sunrpc-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config sunrpc-server
inside 30.26.0.23 255.255.0.0 service 2147483647 protocol TCP port 2222 timeout 0:03:00
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure sunrpc-server</b>	セキュリティ アプライアンスから SunRPC サービスをクリアします。
<b>debug sunrpc</b>	SunRPC のデバッグ情報をイネーブルにします。
<b>show conn</b>	SunRPC を含む各種接続タイプの接続状態を表示します。
<b>sunrpc-server</b>	SunRPC サービス テーブルを作成します。
<b>timeout</b>	SunRPC など、さまざまなプロトコルおよびセッション タイプのアイドル状態の最大継続時間を設定します。

# show running-config sysopt

実行コンフィギュレーションの **sysopt** コマンド コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sysopt** コマンドを使用します。

## show running-config sysopt

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 <b>show sysopt</b> コマンドから変更されました。

### 例

次に、**show running-config sysopt** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config sysopt
no sysopt connection timewait
sysopt connection tcpmss 1200
sysopt connection tcpmss minimum 400
no sysopt nodnsalias inbound
no sysopt nodnsalias outbound
no sysopt radius ignore-secret
sysopt connection permit-ipsec
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure sysopt</b>	<b>sysopt</b> コマンド コンフィギュレーションをクリアします。
<b>sysopt connection permit-ipsec</b>	ACL でインターフェイスをチェックせずに IPSec トンネルからのすべてのパケットを許可します。
<b>sysopt connection tcpmss</b>	TCP セグメントの最大サイズを上書きします。または、確実に最大サイズが指定したサイズよりも小さくならないようにします。
<b>sysopt connection timewait</b>	最後の標準 TCP クローズダウン シーケンスの後、各 TCP 接続が短縮 TIME_WAIT 状態を保持するようにします。
<b>sysopt nodnsalias</b>	<b>alias</b> コマンドを使用するときに、DNS A レコード アドレスの変更をディセーブルにします。

# show running-config tcp-map

TCP マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config tcp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config tcp-map [tcp_map_name]
```

## 構文の説明

*tcp\_map\_name* (任意) TCP マップ名のテキスト。テキストの長さは最大 58 文字です。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**show running-config tcp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config tcp-map
tcp-map localmap
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>tcp-map</b>	TCP マップを作成して、TCP マップ コンフィギュレーション モードにアクセスできるようにします。
<b>clear configure tcp-map</b>	TCP マップのコンフィギュレーションをクリアします。

# show running-config telnet

セキュリティ アプライアンスへの Telnet 接続の使用を許可されている IP アドレスの現在のリストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config telnet** コマンドを使用します。また、このコマンドを使用して、Telnet セッションがアイドルになってから、セキュリティ アプライアンスがセッションを閉じるまでの時間（分）を表示することもできます。

**show running-config telnet [timeout]**

## 構文の説明

**timeout** (任意) Telnet セッションがアイドルになってから、セキュリティ アプライアンスがセッションを閉じるまでの時間（分）を表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <b>running-config</b> が追加されました。

## 例

次に、セキュリティ アプライアンスへの Telnet 接続の使用を許可されている IP アドレスの現在のリストを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config telnet
2003 Jul 15 14:49:36 %MGMT-5-LOGIN_FAIL:User failed to
log in from 128.107.183.22 through Telnet
2003 Jul 15 14:50:27 %MGMT-5-LOGIN_FAIL:User failed to log in from 128.107.183.
22 through Telnet
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure telnet</b>	コンフィギュレーションから Telnet 接続を削除します。
<b>telnet</b>	Telnet アクセスをコンソールに追加し、アイドル タイムアウトを設定します。

# show running-config terminal

現在の端末設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config terminal** コマンドを使用します。

## show running-config terminal

### 構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

### デフォルト

デフォルトの表示幅は 80 カラムです。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、ページの長さ設定をクリアする例を示します。

```
hostname# show running-config terminal
```

```
Width = 80, no monitor
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure terminal</b>	端末の表示幅設定をクリアします。
<b>terminal</b>	端末回線のパラメータを設定します。
<b>terminal width</b>	端末の表示幅を設定します。

# show running-config tftp-server

デフォルト TFTP サーバのアドレスおよびディレクトリを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config tftp-server** コマンドを使用します。

## show running-config tftp-server

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	<b>running-config</b> キーワードが追加されました。

### 例

次に、デフォルト TFTP サーバの IP/IPv6 アドレスおよびコンフィギュレーション ファイルのディレクトリを表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config tftp-server
tftp-server inside 10.1.1.42 /temp/config/test_config
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>configure net</b>	指定した TFTP サーバとパスからコンフィギュレーションをロードします。
<b>tftp-server</b>	デフォルト TFTP サーバのアドレスおよびコンフィギュレーション ファイルのディレクトリを設定します。

# show running-config threat-detection

脅威の検出のコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config threat-detection** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] threat-detection [basic-threat | rate | scanning-threat | statistics
[tcp-intercept]]
```

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての脅威の検出コマンドを表示します。たとえば、 <b>threat-detection basic-threat</b> コマンドのデフォルト レート制限を表示できます。
<b>basic-threat</b>	(任意) 基本的な脅威に関するコンフィギュレーションを表示します。
<b>rate</b>	(任意) レート コンフィギュレーションを表示します。
<b>scanning-threat</b>	(任意) スキャンによる脅威に関するコンフィギュレーションを表示します。
<b>statistics</b>	(任意) 統計情報に関するコンフィギュレーションを表示します。
<b>tcp-intercept</b>	(任意) TCP 代行受信の統計情報に関するコンフィギュレーションを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。
8.0(4)	<b>tcp-intercept</b> キーワードが追加されました。

## 例

次に、**show running-config all threat-detection** コマンドの出力例を示します。この例には、**threat-detection basic-threat** コマンドのデフォルト レート制限が表示されています。

```
hostname# show running-config all threat-detection
threat-detection basic-threat
threat-detection rate dos-drop rate-interval 600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate dos-drop rate-interval 3600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate bad-packet-drop rate-interval 600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate bad-packet-drop rate-interval 3600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate acl-drop rate-interval 600 average-rate 400 burst-rate 800
threat-detection rate acl-drop rate-interval 3600 average-rate 400 burst-rate 800
threat-detection rate conn-limit-drop rate-interval 600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate conn-limit-drop rate-interval 3600 average-rate 100 burst-rate 400
```

## show running-config threat-detection

```

threat-detection rate icmp-drop rate-interval 600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate icmp-drop rate-interval 3600 average-rate 100 burst-rate 400
threat-detection rate scanning-drop rate-interval 600 average-rate 5 burst-rate 10
threat-detection rate scanning-drop rate-interval 3600 average-rate 5 burst-rate 10
threat-detection rate syn-attack rate-interval 600 average-rate 100 burst-rate 200
threat-detection rate syn-attack rate-interval 3600 average-rate 100 burst-rate 200
threat-detection rate fw-drop rate-interval 600 average-rate 400 burst-rate 1600
threat-detection rate fw-drop rate-interval 3600 average-rate 400 burst-rate 1600
threat-detection rate inspect-drop rate-interval 600 average-rate 400 burst-rate 1600
threat-detection rate inspect-drop rate-interval 3600 average-rate 400 burst-rate 1600
threat-detection rate interface-drop rate-interval 600 average-rate 2000 burst-rate 8000
threat-detection rate interface-drop rate-interval 3600 average-rate 2000 burst-rate 8000
threat-detection scanning-threat shun duration 3600
threat-detection statistics
threat-detection statistics tcp-intercept rate-interval 30 burst-rate 400 average-rate 200

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear threat-detection rate</b>	基本脅威検出の統計情報をクリアします。
<b>show threat-detection rate</b>	基本脅威検出の統計情報を表示します。
<b>threat-detection basic-threat</b>	基本脅威検出をイネーブルにします。
<b>threat-detection rate</b>	イベントタイプごとの脅威検出レート制限を設定します。
<b>threat-detection scanning-threat</b>	脅威検出のスキャンをイネーブルにします。



# show running-config timeout

すべてのプロトコルのタイムアウト値を表示するか、または特定のプロトコルのタイムアウト値だけを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config timeout** コマンドを使用します。

**show running-config timeout protocol**

## 構文の説明

*protocol* (任意) 指定したプロトコルのタイムアウト値を表示します。サポートされているプロトコルは、**xlate**、**conn**、**udp**、**icmp**、**rpc**、**h323**、**h225**、**mgcp**、**mgcp-pat**、**sip**、**sip\_media**、および **uauth** です。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	<b>running-config</b> および <b>mgcp-pat</b> キーワードが追加されました。

## 例

次に、システムのタイムアウト値を表示する例を示します。

```
hostname(config)# show timeout
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 1:00:00 half-closed 0:10:00 udp 0:02:00 icmp 0:00:02 rpc 0:10:00 h3
23 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp 0:05:00 mgcp-pat 0:05:00 sip 0:30:00 sip_media 0:02
:00
timeout uauth 0:00:00 absolute
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure timeout</b>	デフォルトのアイドル時間を復元します。
<b>timeout</b>	アイドル時間の最大継続期間を設定します。

# show running-config tls-proxy

現在実行されているすべての TLS プロキシ コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config tls-proxy** コマンドを使用します。

**show running-config [all] tls-proxy [proxy\_name]**

## 構文の説明

<b>all</b>	デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての TLS プロキシ コマンドを表示します。
<i>proxy_name</i>	表示する TLS プロキシの名前を指定します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**show running-config all tls-proxy** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config tls-proxy
tls-proxy proxy
  server trust-point local_ccm
  client ldc issuer ldc_signer
  client ldc key-pair phone_common
  no client cipher-suite
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>client</b>	暗号スイートを定義し、ローカル ダイナミック証明書の発行者またはキーペアを設定します。
<b>ctl-provider</b>	CTL プロバイダー インスタンスを定義し、プロバイダー コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>show tls-proxy</b>	すべての TLS プロキシを表示します。
<b>tls-proxy</b>	TLS プロキシ インスタンスを定義し、最大セッション数を設定します。

# show running-config track

実行コンフィギュレーションの **track rtr** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config track** コマンドを使用します。

```
show running-config track [track-id]
```

## 構文の説明

*track-id* (任意) 指定したトラッキング オブジェクト ID を持つ **track rtr** コマンドだけを表示します。

## デフォルト

*track-id* が指定されていない場合、実行コンフィギュレーションのすべての **track rtr** コマンドが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**show running-config track** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config track 5
track 5 rtr 124 reachability
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure track</b>	実行コンフィギュレーションから <b>track rtr</b> コマンドを削除します。
<b>show track</b>	追跡対象のオブジェクトに関する情報を表示します。
<b>track rtr</b>	SLA をポーリングするためのトラッキング エントリを作成します。

# show running-config tunnel-group

すべてまたは指定したトンネル グループおよびトンネル グループ属性に関するトンネル グループ情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config tunnel-group** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] tunnel-group [name [general-attributes | ipsec-attributes |
ppp-attributes]]
```

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての tunnel-group コマンドを表示します。
<b>general-attributes</b>	一般属性のコンフィギュレーション情報を表示します。
<b>ipsec-attributes</b>	IPSec 属性のコンフィギュレーション情報を表示します。
<b>name</b>	トンネル グループの名前を指定します。
<b>ppp-attributes</b>	PPP 属性のコンフィギュレーション情報を表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•		•		
特権 EXEC	•		•		

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、すべてのトンネル グループの現在のコンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
hostname<config># show running-config tunnel-group
tunnel-group 209.165.200.225 type IPSec_L2L
tunnel-group 209.165.200.225 ipsec-attributes
pre-shared-key xyzx
hostname<config>#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure tunnel-group</b>	トンネル グループ コンフィギュレーションを削除します。
<b>tunnel-group general-attributes</b>	指定したトンネル グループの一般属性を指定するためのサブコンフィギュレーション モードを開始します。

コマンド	説明
<b>tunnel-group ipsec-attributes</b>	指定したトンネル グループの IPSec 属性を指定するためのサブコンフィギュレーション モードを開始します。
<b>tunnel-group</b>	指定されたタイプのトンネル グループ サブコンフィギュレーション モードを開始します。

# show running-config url-block

URL フィルタリングで使用するバッファとメモリ割り当てのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-block** コマンドを使用します。

**show running-config url-block [ block | url-mempool | url-size ]**

## 構文の説明

<b>block</b>	バッファされるブロックの最大数に関するコンフィギュレーションを表示します。
<b>url-mempool</b>	URL の最大許容サイズ (KB 単位) に関するコンフィギュレーションを表示します。
<b>url-size</b>	長い URL のバッファに割り当てられるメモリ リソース (KB 単位) に関するコンフィギュレーションを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

## 使用上のガイドライン

**show running-config url-block** コマンドは、URL フィルタリングで使用するバッファとメモリ割り当てのコンフィギュレーションを表示します。

## 例

次に、**show running-config url-block** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-block
!
url-block block 56
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear url-block block statistics</b>	ブロック バッファの使用状況カウンタをクリアします。
<b>show url-block</b>	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。

コマンド	説明
<b>url-block</b>	Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
<b>url-cache</b>	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
<b>url-server</b>	<b>filter</b> コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

# show running-config url-cache

URL フィルタリングで使用するキャッシュのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-cache** コマンドを使用します。

## show running-config url-cache

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

### 使用上のガイドライン

**show running-config url-cache** コマンドは、URL フィルタリングで使用するキャッシュのコンフィギュレーションを表示します。

### 例

次に、**show running-config url-cache** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-cache
!
url-cache src_dst 128
!
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear url-cache statistics</b>	コンフィギュレーションから <b>url-cache</b> コマンド ステートメントを削除します。
<b>filter url</b>	トラフィックを URL フィルタリング サーバに送ります。
<b>show url-cache statistics</b>	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
<b>url-cache</b>	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
<b>url-server</b>	<b>filter</b> コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。



# show running-config url-server

URL フィルタリング サーバのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-server** コマンドを使用します。

## show running-config url-server

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

### 使用上のガイドライン

**show running-config url-server** コマンドは、URL フィルタリング サーバのコンフィギュレーションを表示します。

### 例

次に、**show running-config url-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-server
!
url-server (perimeter) vendor websense host 10.0.1.1
!
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear url-server</b>	URL フィルタリング サーバの統計情報をクリアします。
<b>show url-server</b>	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
<b>url-block</b>	フィルタリング サーバからのフィルタリング決定を待っている間、Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
<b>url-cache</b>	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
<b>url-server</b>	<b>filter</b> コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

# show running-config username

特定のユーザの実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードでユーザ名を付加して **show running-config username** コマンドを使用します。すべてのユーザの実行コンフィギュレーションを表示するには、ユーザ名を指定しないでこのコマンドを使用します。

**show running-config [all] username [name] [attributes]**

## 構文の説明

<b>attributes</b>	ユーザの特定の AVP を表示します。
<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての <b>username</b> コマンドを表示します。
<b>name</b>	ユーザの名前を指定します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、anyuser という名前のユーザに対する **show the running-config username** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config username anyuser
username anyuser password .8T1d6ik58/lzXS5 encrypted privilege 3
username anyuser attributes
vpn-group-policy DefaultGroupPolicy
vpn-idle-timeout 10
vpn-session-timeout 120
vpn-tunnel-protocol IPSec
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear config username</b>	ユーザ名データベースをクリアします。
<b>username</b>	セキュリティ アプライアンス データベースにユーザを追加します。
<b>username attributes</b>	特定のユーザの属性を設定できます。

# show running-config virtual

セキュリティ アプライアンス仮想サーバの IP アドレスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config virtual** コマンドを使用します。

**show running-config [all] virtual**

## 構文の説明

**all** すべての仮想サーバの仮想サーバ IP アドレスを表示します。

## デフォルト

**all** キーワードを省略すると、現在の仮想サーバ（複数可）に明示的に設定されている IP アドレスだけが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは CLI ガイドラインに沿うように変更されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、特権 EXEC モードを開始しておく必要があります。

## 例

次に、HTTP 仮想サーバがすでに設定されている場合の **show running-config virtual** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config virtual
virtual http 192.168.201.1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure virtual</b>	コンフィギュレーションから <b>virtual</b> コマンドステートメントを削除します。
<b>virtual</b>	認証仮想サーバのアドレスを表示します。

# show running-config vpn load-balancing

現在の VPN ロード バランシングの仮想クラスタ コンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モード、特権 EXEC モード、または VPN ロード バランシング モードで **show running-config vpn-load-balancing** コマンドを使用します。

**show running-config [all] vpn load-balancing**

## 構文の説明

**all** デフォルトおよび明示的に設定されている VPN ロード バランシング コンフィギュレーションの両方を表示します。

## デフォルト

**all** キーワードを省略すると、明示的に設定されている VPN ロード バランシング コンフィギュレーションが表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—
vpn ロード バランシング	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config vpn load-balancing** コマンドは、関連コマンドである **cluster encryption**、**cluster ip address**、**cluster key**、**cluster port**、**nat**、**participate**、および **priority** に関するコンフィギュレーション情報も表示します。

## 例

次に、**all** オプションをイネーブルにした **show running-config vpn load-balancing** コマンドとその出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config all vpn load-balancing
vpn load-balancing
no nat
priority 9
interface lbpublic test
interface lbprivate inside
no cluster ip address
no cluster encryption
cluster port 9023
no participate
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure vpn load-balancing</b>	コンフィギュレーションから <b>vpn load-balancing</b> コマンド ステートメントを削除します。
<b>show vpn load-balancing</b>	VPN ロード バランシングの実行時統計情報を表示します。
<b>vpn load-balancing</b>	VPN ロード バランシング モードを開始します。

# show running-config webvpn

webvpn の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config webvpn** コマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

```
show running-config [all] webvpn [apcf | auto-signon | cache | proxy-bypass | rewrite |
sso-server | url-list]
```

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。
<b>apcf</b>	(任意) SSL VPN APCF の実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>auto-signon</b>	(任意) SSL VPN 自動サインオンの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>cache</b>	(任意) SSL VPN キャッシングの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>proxy-bypass</b>	(任意) SSL VPN プロキシ バイパスの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>rewrite</b>	(任意) SSL VPN コンテンツ変換の実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>sso-server</b>	(任意) シングル サインオンの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>url-list</b>	(任意) URL への SSL VPN アクセスに関する実行コンフィギュレーションを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	このコマンドが改訂されました。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
WebVPN	•	—	•	—	—

## 例

次に、**show running-config webvpn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-configuration webvpn
webvpn
  title WebVPN Services for ASA-4
  title-color green
  default-idle-timeout 0
  nbns-server 10.148.1.28 master timeout 2 retry 2
  accounting-server-group RadiusACS1
  authentication-server-group RadiusACS2
  authorization-dn-attributes CN
```

次に、**show running-config all webvpn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# (config-webvpn)# show running-config all webvpn

webvpn
  title WebVPN Services for ASA-4
  username-prompt Username
  password-prompt Password
  login-message Please enter your username and password
  logout-message Goodbye
  no logo
  title-color green
  secondary-color #CCCCCCF
  text-color white
  secondary-text-color black
  default-idle-timeout 0
  no http-proxy
  no https-proxy
  nbns-server 10.148.1.28 master timeout 2 retry 2
  accounting-server-group RadiusACS1
  authentication-server-group RadiusACS2
  no authorization-server-group
  default-group-policy DfltGrpPolicy
  authentication aaa
  no authorization-required
  authorization-dn-attributes CN
hostname#
```

次に、**show running-config webvpn sso-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# (config-webvpn)# show running-config webvpn sso-server
sso-server
sso-server bxbsvr type siteminder
web-agent-url http://bxb-netegrity.demo.com/vpnauth/
policy-server-secret cisco1234
sso-server policysvr type siteminder
web-agent-url http://webagent1.mysiteminder.com/ciscoauth/
policy-server-secret Cisco1234
max-retry-attempts 4
request-timeout 10
hostname# (config-webvpn)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure webvpn</b>	デフォルト以外のすべての SSL VPN コンフィギュレーション属性を削除します。
<b>debug webvpn</b>	SSL VPN セッションに関するデバッグ情報を表示します。
<b>show webvpn</b>	SSL VPN セッションに関する統計情報を表示します。

# show running-config webvpn auto-signon

実行コンフィギュレーションのすべての WebVPN 自動サインオン割り当てを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config webvpn auto-signon** コマンドを使用します。

## show running-config webvpn auto-signon

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、**show running-config webvpn auto-signon** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# webvpn
hostname(config-webvpn)# auto-signon allow ip 10.1.1.0 255.255.255.0 auth-type ntlm
hostname(config-webvpn)# auto-signon allow uri *.example.com/* auth-type basic
hostname(config-webvpn)# show running-config webvpn auto-signon
auto-signon allow ip 10.1.1.0 255.255.255.0 auth-type ntlm
auto-signon allow uri *.example.com/* auth-type basic
```

### 関連コマンド

<b>auto-signon</b>	WebVPN ログイン クレデンシャルを内部サーバに自動的に渡すようにセキュリティ アプライアンスを設定します。
--------------------	--



# show running-config zonelabs-integrity

Zone Labs Integrity サーバ コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config zonelabs-integrity** コマンドを使用します。

**show running-config [all] zonelabs-integrity**

## 構文の説明

**all** (任意) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、すべての Zone Labs Integrity サーバのアドレスおよびアクティブな Zone Labs Integrity サーバに設定されている値を表示します。明示的に設定されている値に加えてデフォルト値も表示するには、**all** パラメータを使用します。

## 例

次に、**show running-config zonelabs-integrity** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config zonelabs-integrity
zonelabs-integrity server-address 10.0.9.1 10.0.9.2
zonelabs-integrity port 300
hostname#
```

次に、**show running-config all zonelabs-integrity** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config all zonelabs-integrity
zonelabs-integrity server-address 10.0.9.1 10.0.9.2
zonelabs-integrity port 300
zonelabs-integrity interface none
zonelabs-integrity fail-open
zonelabs-integrity fail-timeout 10
zonelabs-integrity ssl-client-authentication disable
zonelabs-integrity ssl-certificate-port 80
hostname#
```

■ show running-config zonelabs-integrity

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure zonelabs-integrity</code>	Zone Labs Integrity サーバのコンフィギュレーションをクリアします。

# show running-config vpdn

PPPoE 接続に使用する VPDN コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config vpdn** コマンドを使用します。

## show running-config vpdn

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

このコマンドにデフォルトの動作または値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
特権 EXEC	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、show running-config vpdn コマンドを使用した場合のコマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config vpdn
vpdn group telecommuters ppp authentication mschap
vpdn username tomm password ***** store-local
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config vpdn group</b>	VPDN グループの現在のコンフィギュレーションを表示します。
<b>show running-config vpdn username</b>	VPDN ユーザ名の現在のコンフィギュレーションを表示します。

# show running-configuration vpn-sessiondb

現在の設定済み vpn-sessiondb コマンドのセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-configuration vpn-sessiondb** コマンドを使用します。

**show running-configuration [all] vpn-sessiondb**

## 構文の説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含め、すべての **vpn-sessiondb** コマンドを表示します。

## デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

リリース 7.0 以降、このコマンドは VPN セッションの最大数制限のみを表示します（設定されている場合）。

## 例

次に、**show running-configuration vpn-sessiondb** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-configuration vpn-sessiondb
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show vpn-sessiondb</b>	セッションを詳細情報付きまたは詳細情報なしで表示します。指定する基準に従って、フィルタリングおよびソートすることもできます。
<b>show vpn-sessiondb summary</b>	セッションの要約を表示します。現在のセッションの合計数、各タイプの現在のセッション数、ピーク時の数および累積合計数、最大同時セッション数を含んでいます。

# show running-config wccp

実行コンフィギュレーションの WCCP コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config wccp** コマンドを使用します。

**show [all] running-config wccp**

## 構文の説明

**all** 1 つまたはすべての WCCP コマンドについて、デフォルトおよび明示的に設定されたコンフィギュレーション情報を表示します。

## デフォルト

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、**show running-config wccp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config wccp
wccp web-cache redirect-list wooster group-list jeeves password whatho
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>wccp</b>	WCCP のサポートをイネーブルにします。
<b>wccp redirect</b>	WCCP リダイレクションのサポートを開始します。

